

火力発電 水力発電

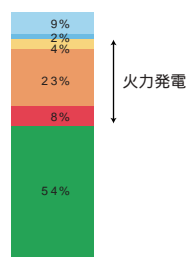
多様な燃料をバランスよく利用

刻々と変化する電力需要に対して、優れた柔軟性を発揮する火力発電は、電力の安定供給を支えるミドル電源として、大きな役割を果たしています。火力発電による発電電力量は35%。長期的には、比較的価格の安定した石炭やクリーンなLNG（液化天然ガス）などを燃料とする火力の導入により、燃料の多様化を図っていきます。

発電能力の開発で国内資源を有効利用

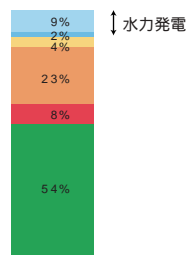
水力発電による発電電力量は11%ですが、環境への負荷が少ないことに加えて、国内資源の有効活用という面からも、開発を積極的に進めています。また、電力に余裕のある夜間に、下部調整池から上部調整池にポンプ揚水し、昼間に発電する揚水式水力発電も、ピーク時・緊急時の電力供給として重要な役割を担っています。

変動する電力需要への柔軟な対応力が、火力発電の特長です。



姫路第一発電所

黒部川第四発電所



自然の力を活用する水力発電は、環境にやさしい電源です。